



「元氣なまちづくりをめざして」

皆野町長 石木戸 道也

新年明けましておめでとうございませう。

町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで新春を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

また、昨年中は町政進展のためご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は何と申しましても、厳しい経済不況が続くなか8月30日投票の衆議院総選挙におきまして、自民党が惨敗し民主党

の圧勝により自民党中心の長期政権から民主党中心の新政権に移行したことであります。まさに平成維新ともいべき年で、

鳩山新内閣では、今まで当然のように進められてきた事業や制度の見直しや廃止が大胆に行われております。

景気対策、地球温暖化防止策、沖繩米軍基地問題、新たな制度の創設や財源確保など、山積する極めて重要な問題に対し、今後どのような政策が打ち出されるのか注目されるところであります。

また昨年は、全国的に新型インフルエンザの感染が広まりました。当町では、中学生以下の子どもへの予防接種費用を全額補助し、感染予防と軽症化を図っております。

町におきましては、商工会を中心し、当町出身で日本芸術院会員の名誉町民であります金子兜太氏による講演会、句碑の建設、俳句教室、吟行ツアーなど多彩な催しが行われ、多くの方々

が「秩父音頭と俳句の町」皆野へ訪れていただきました。町長就任以来、特に子育て支

援、医療、福祉、健康、教育、道路整備を重点的に取り組んできました。その効果かこの2年、出生数が増加しております。これからも更に「楽しく子育てができるまち・元気で長生きができるまち・安心して快適な生活ができるまち」を目指して積極的に取り組んでまいります。

本年も町民の皆様のご指導とご支援をお願い申し上げますと共に、益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

また、教育環境の整備においても、皆野中学校における格技場や周辺道路等の整備も終了し、他の町村に誇れる教育環境が整いました。これを機会に生徒の皆様が勉強や部活動に励まれることを希望しております。

賀 正



「活気ある町づくりに向けて」

皆野町議会議長 四方田 忠 則

新年明けましておめでとございませう。

町民の皆様には、ご家族おそろいで新春を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。

昨年は60年余の永きに亘り、政治の中枢を担ってきた自民党が惨敗し、民主党中心の政権へと政権交代があり期待と不安の中、当町にも、どのような影響がでてくるのか心配もあります。

デフレ・円高が進む中、なかなか経済情勢・雇用問題も回復の兆しも見えてきません。そんな

な中、プロゴルフアー石川遼君の最年少十八歳での賞金王獲得に向けた快進撃は、多くの国民にさわやかな感動を与え、ゴルフをしない人までも、テレビに釘づけとなるなど明るい話題となりました。

秩父市との合併を視野に、協議を進めてきたところですが、昨年5月12日には、新秩父市長と皆野町長の協議で現時点での合併は見送りととなりました。我が皆野町は更に腰を据えて町の将来を共に考え知恵を出し合い、

町づくりを進めなければと強く感じるところであります。

国総務省が進める地域連携方式の「定住自立圏構想」が秩父地域1市4町で具体化されました。同構想は、秩父市が中心となり周辺4町が協定を結び、医療や雇用、水道、交通など生活に欠かせない機能の低下や人口の流出を防ぐことなどが目的であるとされております。

今後、新たな協定項目の締結や秩父圏域共生ビジョンなどの策定についても取り組んでまいりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

〈題字・背景写真〉

皆野高校校長 持田 賢一氏